羽ばたけ報告会

インド・ムンバイのスラム街における水害 と防災マネジメント



Mumbai, India







urbz Mumbai



About *urbz* Mumbai

Year of establishment: 2008

Location: Dharavi Mumbai

No. of core staffs: 5

Purpose:

Taking an experimental action and research collective specialized in participatory planning and design.







International collaborations



Organization structure

Local supports



Scholars Researchers Social workers Universities

Core members founders administrator staffs

Internship participants



ITALY



Law

NEW ZEALAND

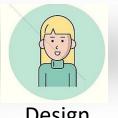


US



INDIA







Design **PORTUGAL**

INDIA

研修目標・目的

①インドの都市とスラム街にインドのスラム街における近代的防災施設及び防災マネジメントのあり方を探るためにインドのスラム街における無計画的・ 行政的防災マネジメントの実態を明らかにすること

②インドのスラム街と日本の密集市街地における事例が相乗的な学びによる「国際協力」の方針の実現性を確認すること

研修活動内容

- 【ヒアリング調査】
- 【観察】
- 【意見交換】





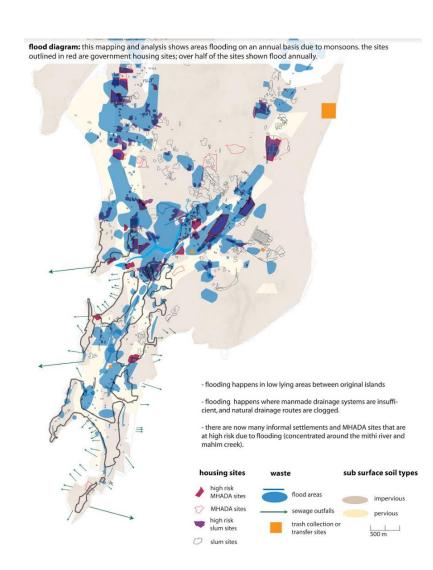
Site visit and investigation at 10 slum areas and neighborhood





研修の成果、研修で獲得したもの

• 深刻な被害を受けた地域の多くはスラム街であることを分かった





Categorized informal areas

Urban village



Notified slum



Non-notified slum

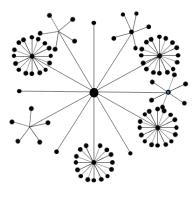




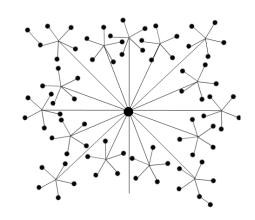


1

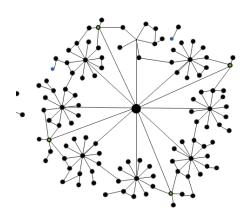
Basic infrastructure service







Centralized system



Distributed system

行動目標の達成度と問題点

- ・ 現地調査作業の達成 【95%】
- ・ 現地学者との会議の効率 【60%】
- ファシリテーション達成度 【50%】
- 問題解決の実践 【90%】

研修で達成したこと

- ・より深くより幅広い都市に関する知識を習得し、インド のムンバイ市に対する研究をさらに高度にできた
- 貧困に関する様々な分野への関心も抱くことができた
- 有力な新興国であるインドで研修を行うことによって、 母国のマレーシアと日本と異なる条件を持つ環境のもと で新しい経験を得ることができただけでなく、環境適応 力を磨いたうえで将来国際的な場で活躍できる質を向上 することができたと考える